

Original document

SCHEDE MANAGING METHOD AND ITS SYSTEM

Publication number: JP2001331620

Publication date: 2001-11-30

Inventor: HIKOSAKA KOUJIRO

Applicant: NEC MOBILING LTD

Classification:

- international: G06Q10/00; G06Q10/00; (IPC1-7): G06F17/60

- European:

Application number: JP20000150560 20000522

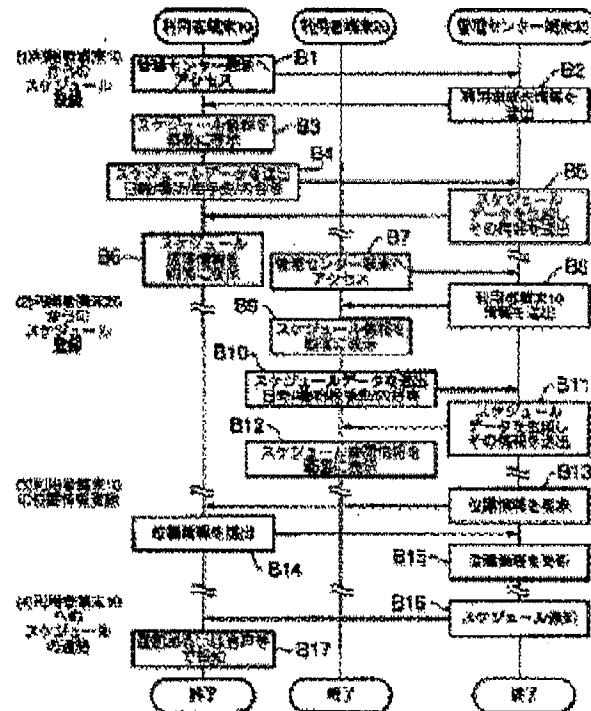
Priority number(s): JP20000150560 20000522

[View INPADOC patent family](#)[View list of citing documents](#)[Report a data error here](#)

Abstract of JP2001331620

PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate schedule setting so as to eliminate the troublesomeness of schedule adjustment imposed on a holder who sets a conference, preliminary arrangements, etc.

SOLUTION: This system provides the schedule management of individuals and contacting methods through a network 100; and an individual A inputs and sends the time, place, contents, etc., of a preliminary arrangement for conference to a management center terminal 30 by using its own user terminal 10 or another person B inputs and sends the time, place, contents, etc., of the preliminary arrangement with A to the management center terminal 30 by using the user terminal 20 owned by B. The management center terminal 30 manages the schedule of A and also always grasps current position information on A, and makes contact with the user terminal 10 owned by A early enough to be in time for the conference or previous meeting.



Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-331620

(P2001-331620A)

(43) 公開日 平成13年11月30日 (2001.11.30)

(51) Int.Cl.⁷
G 0 6 F 17/60識別記号
1 6 2F I
G 0 6 F 17/60データコード* (参考)
1 6 2 A 5 B 0 4 9

審査請求 有 請求項の数 3 OL (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2000-150560(P2000-150560)

(22) 出願日 平成12年5月22日 (2000.5.22)

(71) 出願人 390000974

エヌイーシーモバイリング株式会社
横浜市港北区新横浜三丁目16番8号 (N
ECモーテルビル)

(72) 発明者 彦坂 基二郎

神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目16番8
号 日本電気モーテルビル内

(74) 代理人 100108578

弁理士 高橋 駿男 (外3名)

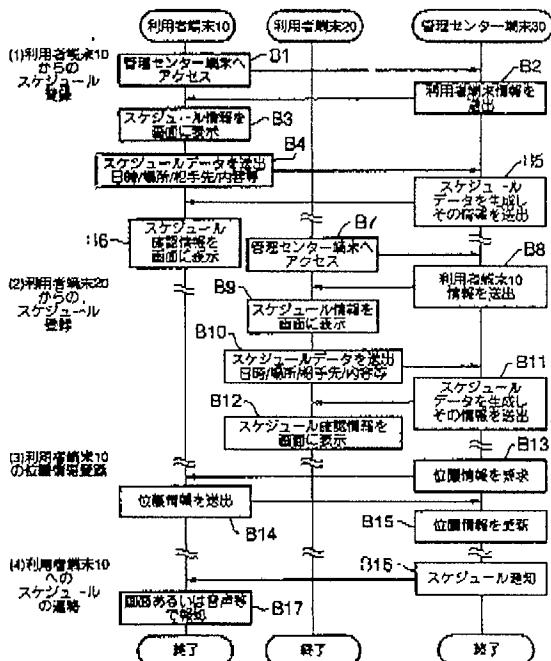
Fターム (参考) 5B049 CC32 D005 FF03 FF09 GG04

(54) 【発明の名称】 スケジュール管理方法ならびにそのシステム

(57) 【要約】

【課題】 スケジュール設定を容易化し、会議、打ち合わせ等設定する主催者をスケジュール調整の煩わしさから開放する。

【解決手段】 ネットワーク100を介して個人のスケジュール管理と連絡の方法を提供するものであり、個人(A)が、自身で所持する利用者端末10を用い、会議あるいは打合せの時間、場所及び打合せ内容等を入力して、管理センター端末30に送り出し、あるいは他人(B)が自身で所持する利用者端末20を用い、Aとの打合せ時間、場所、打合せ内容等を入力して管理センター端末30に送り出す。管理センター端末30では、Aのスケジュールを管理するとともにAの現在位置情報を常時把握しておき、会議あるいは打合せ時間に間にあうような時間にAが所持する利用者端末10に連絡する。



(2) 001-331620 (P2001-331620A)

【特許請求の範囲】

【請求項1】複数の利用者端末と、管理センター端末とがネットワークを介して接続され、前記各利用者端末を使用して自身のスケジュールを設定するとともに、必要に応じて他人のスケジュールを設定し、その連絡を前記管理センター端末に託し、前記管理センター端末は、前記各利用者端末によって設定されたスケジュールを蓄積し、直前のスケジュールからその設定に問題がないか判断して要求のあった利用者端末に返答するとともに、必要に応じて他人の利用者端末の現在位置情報を把握することによってスケジュール調整を行い、その設定の可否を要求のあった利用者端末に返答することを特徴とするスケジュール管理方法。

【請求項2】前記スケジュール調整は、前記現在位置情報に基づき、会議もしくは打ち合わせ時刻に遅滞なく出席できることを判断したうえで設定することを特徴とする請求項1に記載のスケジュール管理方法。

【請求項3】利用者端末と、管理センター端末とがネットワークを介して接続されるネットワークシステムにおいて用いられ、

自身のスケジュールを設定するとともに、必要に応じて他人のスケジュールを設定し、その連絡を前記管理センター端末に託す複数の前記利用者端末と、前記各利用者端末に備え付けられ、前記各利用者端末の移動に伴い逐次更新された位置情報を発信する位置情報システムと、

前記利用者端末とは前記ネットワークを介して接続され、前記各利用者端末によって設定されたスケジュールを蓄積し、直前のスケジュールからその設定に問題がないか判断して前記要求のあった利用者端末に返答するとともに、必要に応じ前記位置情報システムにより他人の利用者端末の現在位置情報を把握することによってスケジュール調整を行い、その設定の可否を要求のあった利用者端末に返答する前記管理センター端末とを備えたことを特徴とするスケジュール管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、利用者端末と、管理センター端末とがネットワークを介して接続されるネットワークシステムに用いて好適なスケジュール管理方法ならびにそのシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来から個人のスケジュール管理は、手帳、もしくは自身で持つスタンドアロンのパソコンやコンピュータ等端末による自己管理、あるいは秘書等による人的管理で行われていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来のスケジュール管理は、個人管理が主であるため、会議あるいは打合せ設定時、関係者のスケジュールを知るに

は、当人または秘書に問い合わせする必要があり、自身も含め関係者のスケジュール設定は電話等によって決定される。従って、関係者が不在の時にはその調整がつかず、時期を失することがあった。また、時間調整などに秘書等が忙殺され、非常に効率が悪かった。

【0004】本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、個人のスケジュール管理をネットワークを介して行い、自身を含め他人がネットワークを介して個人のスケジュールを参照してスケジュールを調整するとともに、管理センターが常に個人の位置情報を把握し、スケジュールにあった時間に個人へスケジュール情報を送出することにより、スケジュール設定を容易化し、あわせて会議、打ち合わせ等主催者をスケジュール調整の煩わしさから開放することのできる、スケジュール管理方法ならびにそのシステムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上述した課題を解決するために請求項1に記載の発明は、複数の利用者端末と、管理センター端末とがネットワークを介して接続され、各利用者端末を使用して自身のスケジュールを設定するとともに、必要に応じて他人のスケジュールを設定し、その連絡を管理センター端末に託し、管理センター端末は、各利用者端末によって設定されたスケジュールを蓄積し、直前のスケジュールからその設定に問題がないか判断して要求のあった利用者端末に返答するとともに、必要に応じて他人の利用者端末の現在位置情報を把握することによってスケジュール調整を行い、その設定の可否を要求のあった利用者端末に返答することとした。また、請求項2に記載の発明は、請求項1に記載のスケジュール管理方法において、スケジュール調整は、前記現在位置情報に基づき、会議もしくは打ち合わせ時刻に遅滞なく出席できることを判断したうえで設定することとした。

【0006】このことにより、個人（以下Aという）が、自身の利用者端末用い、会議あるいは打合せの時間、場所及び打合せ内容等を入力し、管理センターに送り出し、あるいは他人（以下Bという）が自身の利用者端末を用い、Aとの打合せ時間、場所、打合せ内容等を入力して管理センターに送出する。管理センターでは、Aのスケジュールを管理するとともにAの現在位置情報を常時把握しておき、会議あるいは打合せ時間に間にあうような時間にAの利用者端末に連絡する。従って、Aはその通知により遅滞なく会議等に出席することができ、スケジュール設定が容易化され、あわせて、会議、打ち合わせ等主催者をスケジュール調整の煩わしさから開放することができる。

【0007】請求項3に記載の発明は、利用者端末と、管理センター端末とがネットワークを介して接続されるネットワークシステムにおいて用いられ、自身のスケジュールを設定するとともに、必要に応じて他人のスケジュ

(3) 001-331620 (P2001-331620A)

ールを設定し、その連絡を管理センター端末に託す複数の利用者端末と、各利用者端末に備え付けられ、利用者端末の移動に伴い逐次更新された位置情報を発信する位置情報システムと、利用者端末とはネットワークを介して接続され、各利用者端末によって設定されたスケジュールを蓄積し、直前のスケジュールからその設定に問題がないか判断して要求のあった利用者端末に返答とともに、必要に応じ位置情報システムにより他人の利用者端末の現在位置情報を把握することによってスケジュール調整を行い、その設定の可否を要求のあった利用者端末に返答する管理センター端末とを備えることとした。上記構成により、個人のスケジュール管理をネットワークを介して行い、自身を含め他人がネットワークを介して個人のスケジュールを参照してスケジュールを調整するとともに、管理センターが常に個人の位置情報を把握し、スケジュールにあった時間に個人へスケジュール情報を送出することにより、連絡を受けた各人は、遅滞なく会議等に出席することができ、このことにより、スケジュール設定が容易化され、会議、打ち合わせ等の主催者はスケジュール調整の煩わしさから開放されたスケジュール管理システムを構築することができる。

【0008】

【発明の実施の形態】図1は本発明におけるスケジュール管理システムの接続形態を示す図である。図1を参照すると、本発明のスケジュール管理システムは、ユーザーAが所持する利用者端末10、ユーザーBが所持する利用者端末20、制御中枢となる管理センター端末30、及びこれらを相互に接続する携帯電話、インターネット等の通信ネットワーク100から構成されている。

【0009】ユーザーAの利用者端末10は、パーソナルコンピュータ等の情報処理端末及びiモード、GPS (Global Positioning System) 等位置情報システムを備えた携帯電話端末である。ユーザーAの利用者端末10は、管理センター端末30上に蓄積されているユーザーAのスケジュール情報にアクセスし、スケジュール情報を画面に表示し、新たなスケジュールを入力する機能を備えている。

【0010】管理センター端末30は、管理センター提供者により使用され、ワークステーション・サーバー等の情報処理装置によって構成される。管理センター端末30は、ユーザーAあるいはBの利用者端末10、20が送出したスケジュール情報を受信し、そのスケジュール設定が可能か否かを判断し、その設定可否情報を要求のあった利用者の利用者端末10 (20) に送出する。また、スケジュールに沿った情報をその時間帯になった時にその旨、ユーザーAが所持する利用者端末10、例えば携帯電話に送出する。

【0011】ユーザーBの利用者端末20は、パーソナルコンピュータ等の情報処理端末あるいはiモード等携帯電話端末であり、ユーザーAのスケジュール情報を画

面に表示し、ユーザーAのスケジュールに入力するための機能を備えている。

【0012】図2、図3は、図1に示す本発明実施形態の動作を説明するために引用した図であり、それぞれ、動作手順を示した流れ図、ディスプレイ表示されるスケジュールの例を示す。以下、図2、図3を参照しながら図1に示す本発明実施形態の動作について、(1)ユーザーAの利用者端末10からのスケジュール登録動作、(2)ユーザーBが所持する利用者端末20からのスケジュール登録、(3)ユーザーAが所持する利用者端末10の位置情報登録、(4)ユーザーAが所持する利用者端末10へのスケジュール連絡のそれについて詳細に説明する。なお、以降の説明ではネットワーク100は携帯電話システム及びインターネットを含む通信ネットワークであるものとする。

【0013】(1) 利用者端末10からのスケジュール登録

ユーザーAは、自身が所持する利用者端末10を介して、管理センター端末30が管理しているユーザーAのスケジュール情報にアクセスする(ステップB1)。これに応答して管理センター端末30は、ユーザーAのスケジュール情報を利用者端末10に送信する(ステップB2)。ユーザーAの利用者端末10では、図3に示すようなスケジュール情報がディスプレイ画面に表示される(ステップB3)。ユーザーAは、利用者端末10に表示された内容を見ながら、スケジュールの追加、調整を行い、その情報をネットワーク100を介して管理センター端末30に送信する(ステップB4)。

【0014】管理センター端末30は、ユーザーAの利用者端末10からの情報によりスケジュール管理データを蓄積するとともに、直前のスケジュールからその設定に問題が無いか否かを判断処理し、その結果を要求のあった利用者端末10へ送信する(ステップB5)。このことにより、利用者端末10では、入力したスケジュールの確認を行う(ステップB6)。

【0015】(2) 利用者端末20からのスケジュール登録

ユーザーBの利用者端末20は、ユーザーAのスケジュール情報の参照をネットワーク100を介して管理センター端末30に要求する(ステップB7)。管理センター端末30は、この要求を受け付け、利用者端末10のスケジュール情報を検索して要求のあった利用者端末20に送出する(ステップB8)。利用者端末20では、そのスケジュール情報に基づき(ステップB9)、都合の良いスケジュールを設定し、その画面を見ながら必要な情報、すなわちユーザーBの氏名、打合せ時間、場所及び内容を送信する(ステップB10)。

【0016】管理センター端末30ではその情報と蓄積されたユーザーAのスケジュール管理データからその可否を判断し、ユーザーBが所持する利用者端末20に通

(4) 001-331620 (P2001-331620A)

知する（ステップB11）。このことにより、利用者端末20では、その情報を受信し、スケジュールが設定されたことを確認する（ステップB12）。

【0017】（3）利用者端末の位置情報登録

管理センター端末30は、定期的に各利用者端末の現在位置を通知するよう利用者端末に要求する（ステップB13），ユーザーAの利用者端末10は、上述したようにG P S等位置情報システムを有し、位置情報システムによって逐次更新され生成される現在位置情報を、管理センター端末30へ通知する（ステップB14）。管理センター端末30では、その情報によりユーザーAの現在位置を常に更新する（ステップB15）。

【0018】（4）利用者端末へのスケジュール通知
管理センター端末30は、その位置情報とスケジュールデータからスケジュールが遅滞なく実行できるようにネットワーク100を介してユーザーAの利用者端末10に通知する（ステップB16）。このことにより、利用者端末10は、鳴動音、画面あるいは音声などでスケジュールが設定された旨をユーザーAに通知する（ステップB17）。

【0019】以上説明のように本発明は、ネットワーク100を介して個人のスケジュール管理と連絡の方法を提供するものであり、具体的には、個人（A）が、自身で所持する利用者端末10を用い、会議あるいは打合せの時間、場所及び打合せ内容等を入力して、管理センター端末30に送出し、あるいは他人（B）が自身で所持する利用者端末20を用い、Aとの打合せ時間、場所、打合せ内容等を入力して管理センター端末30に送出す。管理センター端末30では、Aのスケジュールを管

理するとともにAの現在位置情報を常時把握しておき、会議あるいは打合せ時間に間にあうような時間にAが所持する利用者端末10に連絡する。従って、Aはその通知により、遅滞なく会議等に出席することができ、スケジュール調整の煩わしさから開放される。

【0020】

【発明の効果】以上説明のように本発明によれば、個人のスケジュール管理をネットワークを介して行い、自身を含め他人がネットワークを介して個人のスケジュールを参照してスケジュールを調整するとともに、管理センターが常に個人の位置情報を把握し、スケジュールにあった時間に個人へスケジュール情報を送出することにより、連絡を受けた利用者各人は、遅滞なく会議等に出席することができ、このことにより、スケジュール設定が容易化され、会議、打ち合わせ等の主催者はスケジュール調整の煩わしさから開放される。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明におけるスケジュール管理システムの接続形態を示す図である。

【図2】 本発明実施形態の動作を説明するために引用した図であり、利用者端末間、ならびに管理センターのそれそれぞれにおける動作の流れを示す図である。

【図3】 本発明実施形態の動作を説明するために引用した図であり、利用者各人のスケジュールをディスプレイ画面上に表示した例である。

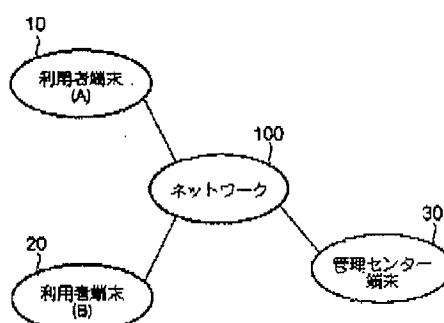
【符号の説明】

10 (20) 利用者端末

30 管理センター端末

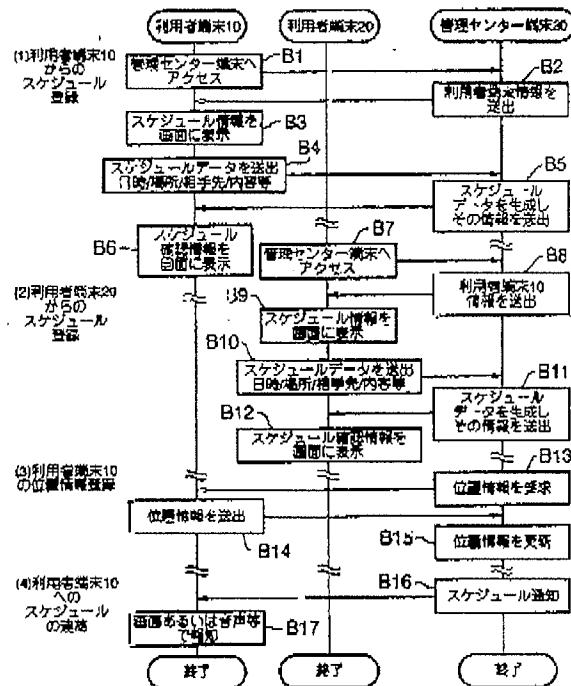
100 ネットワーク

【図1】



!(5) 001-331620 (P2001-331620A)

【図2】



[図3]

